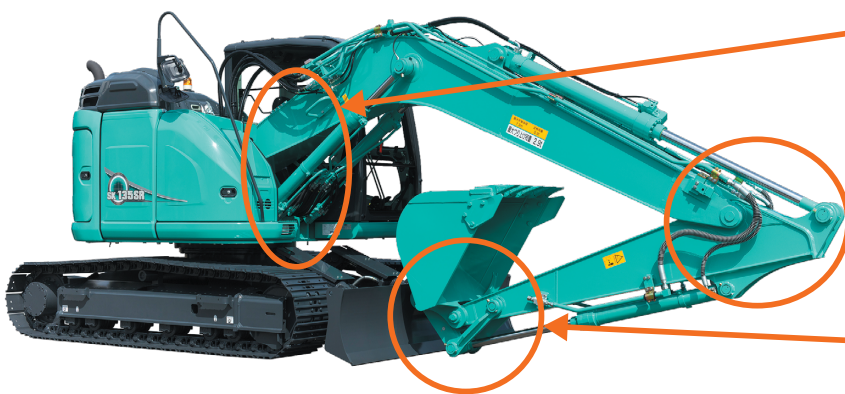


## 日々のグリスアップで ショベルを長く使いましょう!

### グリスアップのポイント!

#### グリスアップ箇所例



①：ブーム背面集中グリスニップル  
 ブームシリンダ接続部  
 旋回ベアリング・旋回減速機

②：ブームとアームの接続部  
 ブーム・アームシリンダ接続部

③：アーム・アームシリンダと  
 先端アタッチメントの接続部



#### グリスアップポイント

グリスの給脂箇所であるグリスニップルとそれに対応するピン等の隙間からグリスがはみ出るまで給脂してください。給脂頻度は新車 50 時間までは毎日。次は 250 時間稼働時および 500 時間稼働時。その後は 500 時間ごとまたは 6 ヶ月ごとのどちらか早い時期でグリスアップを行ってください。また、先端アタッチメント周辺においては 250 時間稼働時以降は 250 時間ごとです。

#### コベルコグリスのご紹介

コベルコ建機ではブルーグリーンマルチグリースや万能極圧グリースなど用途に合わせたグリスを数種用意しております。

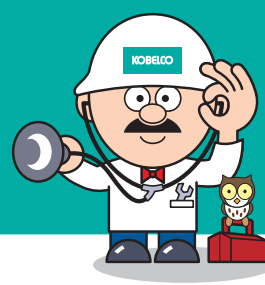
グリスに関するお問い合わせは最寄りの販売サービス窓口までご連絡のほどよろしくお願いたします。



ブルーグリーン  
 マルチグリース

# 「ドクター・コメンテ」

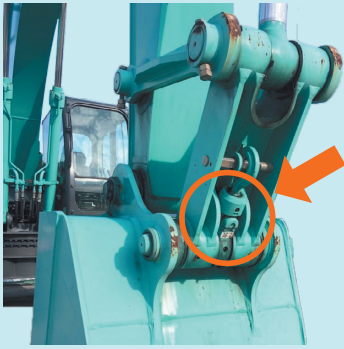
## メンテナンスサービス



**Dr. KOMENTE**  
Maintenance Service

### 見落としやすいグリスアップ箇所

ハイリーチクレーン搭載機では



グリスニップルはクレーンフックの回転部についています。グリスアップを怠ると内部部品の腐食、摩耗が進み回転部の寿命が極端に短くなるのでフックを使用しない場合でも毎月1回は必ず給脂してください。フックの回転に引っかかりがあったり、硬くなっている場合は点検が必要です。

ショベルの型式や仕様ごとにグリスニップルの位置・個数が異なります。また、先端アタッチメントにグリスニップルがある場合もございますのでご注意ください。



### 潤滑不足による故障事例



摩耗したピンやブッシュ

潤滑が不足すると、接続部の焼き付きや摩耗といった故障の原因となります。特にショベルの稼働初期はグリスが馴染み切っておらず摩耗が進みやすいため、よりこまめなグリスアップを推奨しております。

グリスアップを実施しショベルを万全の状態で運用しましょう！

**コベルコ建機株式会社**

www.kobelco-kenki.co.jp

東京本社/〒141-8626 東京都品川区北品川5-5-15 ☎03-5789-2111

コベルコ建機日本株式会社

本 社	〒272-0002 千葉県市川市二俣新町17	☎047-328-7111
北海道支社	☎011-788-2382	東北支社 ☎0223-24-1141
関東支社	☎047-328-2322	上信越支社 ☎025-259-3711
中部支社	☎052-603-1201	関西支社 ☎06-6414-2108
中四国支社	☎082-810-3660	九州支社 ☎092-410-3030

■点検・修理のご用命は……